



大人の嗜み vol.07

生かせる資格・役立つ資格

就職や転職のためのキャリアアップに資格取得を目指している方も多い昨今。でも「資格があるから優秀」というわけではなく、せっかく持っている資格を生かさないと意味がありません。自分に合ったジャンルで、仕事だけでなく生涯において生かせる資格を持ってこそ大人の嗜み。

人気の資格ランキング

(平均的なもの)

1. 簿記検定 日商3級 (C)
2. ホームヘルパー 2級 (D)
3. 宅地建物取引主任者 (宅建) (B)
4. 医療事務 (C)
5. TOEIC (B)
6. マイクロソフトオフィスエキスパート (D)
7. ファイナンシャルプランナー 3級 (D)
8. ITパスポート試験 (旧アドミニストレーター) (C)
9. 中小企業診断士 (A)
10. 実用ボールペン字

むずかしい かんたん

A ←→ D

括弧内は難易度

その他

- ・社会保険労務士 (A) ・行政書士 (A) ・通関士 (B) ・秘書検定 (A)
- ・カラーコーディネーター (B) ・Photoshopクリエイター能力認定試験 (B)

ボールペン字や漢字検定、DIYアドバイザーなど生涯学習としての資格も人気がありますが、やはり仕事・就職活動に役立つものが上位を占めています。当編集室の注目資格は下記3つ。

■カラーコーディネーター

最近よく耳にするようになり人気も急上昇中の資格。カラーコーディネーターは数種類あり、特に東京商工会議所が行う「カラーコーディネーター検定」と社団法人全国服飾教育者連合会が実施する「色彩検定」の二つがメインの資格になっています。前者は産業全般に関する色の知識が中心、後者はファッションや服飾に関する色の知識が中心です。(他にTOCOLトールコルや色彩士検定というものもあります。) 難易度も資格が持つ社会的意義も、どちらも大きくは変わらないようです。3級～1級まであり、初めての受験でもどの級からでも挑戦できます。

●生活に役立つ能力!

毎日の服選びやコスメに大活躍。着合わせや季節感メイクでおしゃれ度もアップ。インテリアやファッション選びの強い味方、買ってから「失敗した!」なんて事も減るかも。お料理の彩りや室内インテリアの組み合わせなど生活の様々なシーンで自在に演出できます。

●独立開業も!

アパレル、化粧品、インテリアをはじめほとんどのサービス、業界で役立つ能力です。企業の商品企画のカラーアドバイザーや店舗デザインの分野でカラーコーディネーターが沢山活躍しています。

■ホームヘルパー

厚生労働省が認定した講習事業者の講習を修了すると認定されます。3級～1級まであり、3級は主に家族介護を行う場合に有用な知識を得られ、受講者は年々増えています。2級からは、ホームヘルパーを生業とする方が取得します。訪問介護事業者や自治体などを通して講習を受ける必要があります、片手間で取得は難しいですが、高齢化社会でますます需要が増えるスキルです。

●ご家族の介護をされる方に!

重労働で負担の大きい介護において、現場で実際に使われているノウハウを学ぶことで負担を軽減できます。介護をする側・される側双方が笑顔で過ごせる一助となるスキルといえます。

●2級からはお仕事として目指す方に!

実際の現場で活躍されている講師の方から、福祉専門器具などの扱いが学べたりと、2級以上の資格はより実践的な技術を学ぶことができます。取得までには時間も手間もかかりますが、資格保持者を求める現場は数多くあり、就職に役立つ資格のひとつです。

■ファイナンシャルプランナー

金融・税制・不動産・ローン・保険・年金などお金にまつわる広い知識を備え、個人の資産や財務状況を分析して住宅ローンの編成や返済計画などについて適切なアドバイスができる資格です。家庭内における家計管理などに役立ちます。

国家資格の「FP技能士」と、国際的に認められている「AFP・CFP」の二種類があり、どちらが有利というわけではありませんが、それぞれが複合的になっているので目的に合わせて取得範囲を決める事ができます。生涯学習として子育て後の再就職を目的に勉強している方も多い資格です。

●保険や資産運用を自分で!

子どもや家族の保険を自分で計算することができ、投資や資産運用も家計の中でどれくらいの割合を割けるのかが明確になったりと、家庭のレベルで金融・経済を活用できます。

●もちろんキャリアへの貢献も!

企業でもFPの存在が重要視されてきています。社内FPや独立しての個人顧客へのライフプラン提案など、可能性の幅が広いのも魅力の一つです。

番外編 地域を元気にする「観光の専門家」 観光創造士とは?

北海道大学 石森秀三教授が提唱。昨今の観光地の過疎化は人材不足が原因と分析し、観光に特化したコーディネーターを養成、専門職として位置づけ、独立できる仕組みを作ることが目的の資格です。現在、北海道で試運転中。来年秋には第1号を認定する予定です。地域振興というやりのあるお仕事に携わりたい方は要チェックです!

